

# 情報公開文書

## 【研究課題名】

膵管ガイドワイヤー法の内視鏡的逆行性膵管胆管造影（ERCP）後膵炎と高アミラーゼ血症に関する検討

## 【研究の背景と目的】

膵管ガイドワイヤー法は ERCP 時の胆管挿管困難例に対して膵管ガイドワイヤー法を成功させるために開発された方法ですが、近年、ERCP 後膵炎のリスクファクターとする報告が少なからず見られます。今回の研究は当院における膵管ガイドワイヤー法後の ERCP 後膵炎と高アミラーゼ血症の発生頻度、およびそのリスクファクターについて検討するものです。

## 【研究対象】

ERCP およびその関連手技は胆管、胆のう、膵臓に何らかの疾患がある、あるいは疑われる患者に対して行われます。このような患者さんのうち 2014 年 1 月から 2018 年 7 月までに膵管ガイドワイヤー法を用いて胆管挿管を行われた患者さんが対象となります。

## 【研究に伴うリスクとプライバシーの保護】

本研究は過去に膵管ガイドワイヤー法を行なわれた患者さんの電子カルテにある診療録、検査データ、画像診断を後方視的に検討するものであり、新たに X 線検査や血液検査をすることはないため患者さんの負担は一切ありません。利用する過去の情報から患者さんを特定し得る個人情報漏洩しないように厳重に管理されます。また、研究結果は学会などで発表されますが、その際も個人情報が提示されることは一切ありません。

ご不明な点がある場合、あるいは研究に同意されない場合は下記までご連絡下さるようお願い致します。

## 問合せ先

新潟県立新発田病院内科 夏井正明

電話 0254-22-3121